

幼稚園 Kindergarten



収穫祭感謝礼拝



おやつ前のお祈り

神様のまもりの中で

岡林 亜季 幼稚園教諭

うらかな春の日差しが心地よい季節となりました。新入園の子どもたちが入園することを、在園の子どもたち、教職員、みんなでも楽しみにしています。

入園式の日にはきっと、期待や緊張、様々な表情を浮かべた子どもたちが、その小さい手を保護者の方に引かれて幼稚園に来ることでしょう。入園してしばらくの間、子どもたちはお家の方と一緒に過ごしなが、少しずつ幼稚園のことを知っていきます。好きなものや場所、遊びと出会う中で、徐々に幼稚園が子どもたちにとって安心できる居場所となることを願っています。一緒に遊んだり、おやつをいただいたり、絵本を読んだり、歌を歌ったりして過ごしましょうね。

幼稚園の歩みの中心には、いつも神様が共にいてくださいます。私たち保育者は子どもたちを神様からお預かりした大切な存在としてかわり、その時々のお気持ちに寄り添い、心の育ちを支えてまいります。神様のまもりの中でこれから経験する一つひとつの出来事が、子どもたちの成長の糧となることでしょう。

ご入園おめでとうございます。

特集 ようこそ青山学院へ!



出会いと発見の喜びに満ちて始まった、学院生活。

新しい仲間に向けて、メッセージをお届けします。

Welcome to Aoyama Gakuin!

シュー 土戸 ポール 副院長・大学宗教学主任

新入生の皆さま、ご入学おめでとうございます。

人生の中で、学校に通うことができるのは最も素晴らしい時期であり、自分を高め、自分を成長させる道程となります。教育は受けるだけのものではなく、自ら求めるものです。園児・児童・生徒・学生が、それぞれの人生の段階にあって、これからの成長を期待すべきときなのです。入学した時の自分と卒業する時の自分が「別人」になることを期待し、その成長を自ら求めてください。

そうするために、青山学院のスクールモットー「地の塩、世の光」をぜひ自分のモットーにしてみてください。古代から「塩」は貴重な存在であり、腐敗を防ぎ、清めのしるしでした。少しの塩によって料理全体が良くなります。青学生は地球の塩となるべき人たちです。現代の社会によく貢献し、より良い世界を作り上げるように目指します。「光」は私たちが安全に導き、暖かさやエネルギーを与えてくれます。同じように、青学生は世の光となることを目指しています。

イエス・キリストが教えました。「あなたがたは地の塩である」、また「あなたがたは世の光である」。イエスはそれらに向かって努力するように勧めているのではなく、「あなたがたは～であ

る」と宣言しているのです。青山学院では、私たちは園児・児童・生徒・学生一人ひとりを「地の塩、世の光」と理解しています。その可能性と能力・賜物がもうすでにあなたの中にあるのです。自分らしく輝きながら、この世界のために「Be the Difference」になって欲しいと思います。

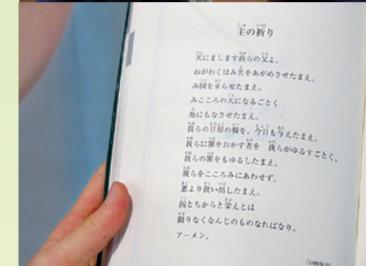
青山学院の創立者の一人、ジョン・ガウチャーは、教育の目的は生活の糧を得るためにあるのではなく、人生を築き上げることにありと述べました。知識の習得は重要ですが、それ以上の成長が期待されるのです。青山学院では、一人ひとりの知的側面、身体的側面、精神的側面、霊的側面を含めたすべての人間的側面において成長し、バランスのとれた人格の発達を目指します。教育により、全人格の最高の可能性を追求し、愛と奉仕の精神をもってすべての人と社会とに対する責任を進んで果たす人間の形成を目指していくのです。

青山学院で学ぶ一人ひとりは、「こども」ではなく人格を持った「人間」であり、次世代のリーダーとなることを期待されます。皆さんを迎える私たちは一人ひとりの可能性を信じています。皆さんも自分の成長の可能性を信じ、一緒に教育に取り組んで欲しいと思います。

初等部 Elementary School



祈禱会



主の祈り

かんげいのことば

わたなべ みくり 初等部2年

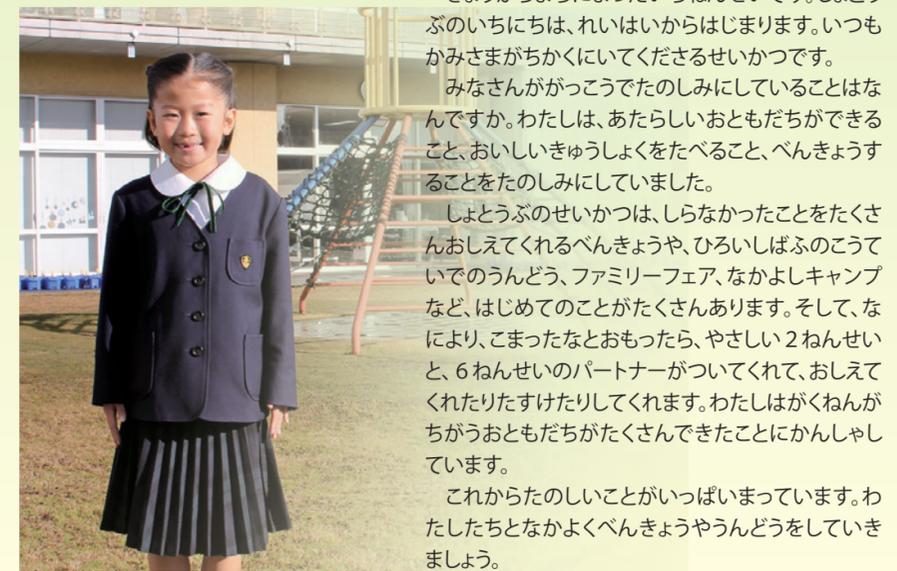
しんにゆうせいのみなさん、ごにゆうがくおめでとうございます。

きょうからまちにまいったいねんせいです。しょうぶのいちにちは、れいはいからはじまります。いつもかみさまがちかくにいてくださるせいかつです。

みなさんがっこうでたのしみをしていることはなんですか。わたしは、あたらしいおともだちができること、おいしいきゅうしょくをたべること、べんきょうすることをたのしみしていました。

しょうぶのせいかつは、しらなかったことをたくさんおしえてくれるべんきょうや、ひろいしばふのこうていでうんどう、ファミリーフェア、なかよしキャンプなど、はじめてのことがたくさんあります。そして、なにより、こまったなともつたら、やさしい2ねんせいと、6ねんせいのパートナーがついてくれて、おしえてくれたりたすけたりしてくれま。わたしはがくねんがちがうおともだちがたくさんできたことにかんしゃしています。

これからたのしいことがいっぱいまっています。わたしたちとなかよくべんきょうやうんどうをしていきましょう。



求め続けること

関根 美優 中等部3年

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。皆さんは晴れて中学生となりました。

新しい仲間・環境に大きな不安を抱いている人も沢山いることでしょう。私も入学当時、とても心配していました。しかし、優しい友達や先輩、先生方に恵まれ、今では学友会(生徒会)や部活など、自分でもびっくりするほど素晴らしい、充実した毎日を送っています。神様が私に道を備えてくださったと実感します。

私は皆さんに、何事にもチャレンジすることを忘れないで欲しいと思います。新しい出会いは人を大きく変え、成長させてくれます。この豊かな学び舎で、失敗を恐れず沢山の挑戦をし、色々な経験を積んでください。

「あなたがたがわたしを選んだのではない。わたしがあなたがたを選んだ」(ヨハネ15:16)。どんな時も神様はあなたと共にいるから大丈夫です。一人ひとりが緊張を自信に変え、鮮やかで爽やかな中等部生活を送れるよう、心から願っています。



ハンドベル部



中等部礼拝



聖歌隊

中等部 Junior High School



与えられたものを大切に

山田 華子 高等部3年

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます！ 期待でいっぱいの日々を過ごしていますか？ それとも、初めてのことが多くまだ不安な気持ちも残っているのでしょうか。

私は今でも2年前の自分のことを思い返すことがあります。当時の私は高校受験直前に自分の行きたい高校がどこなのかを完全に見失っていました。しかし4月には無事に高等部に入学することができ、今はとても充実した楽しい日々を送っています。また私は高等部でパイプオルガンという楽器に出会い、オルガン部に入部しました。礼拝演奏を担当したり合宿で集中的に練習したりすることで、精神的に成長し、キリスト教音楽や聖書の考え方にも触れることができました。今まで高等部で経験したことは、どれも中学生だった頃の私には想像もつかないくらい素晴らしいもので、自分の大きな糧となっています。

「あなたがたの父は、願う前から、あなたがたに必要なものをご存じなのだ」(マタイ6:8)。この聖句を初めて耳にした時、私にぴったりの言葉だと思いました。今も様々な活動をするにあたってこの聖句が私の支えとなっています。自分が取るべき行動がわからなくなってしまった時でも、神様は私たち一人ひとりを見ていて下さり、私たちに必要なものを与えて下さいます。だからこそ、どんなときでも安心して自分のベストを尽くすことができるのです。あつという間の高等部の3年間、全力で駆け抜けて行ってください！

そして、高等部で得られるものは勉強の知識だけではありません。バレーボール大会や文化祭、クラブ活動を通して最高の仲間と素敵な思い出に溢れた生活を送れることを保証します！

皆さんの一生に一度の高等部生活がキラキラしたものになるように願っています。



真冬のホワイトキャンプ



高等部聖歌隊

高等部 Senior High School

まるっと愛する人に

伊藤 礼香 総合文化政策学部4年

新入生のみなさま、ご入学おめでとうございます。毎年4月になると、この青山学院に様々なところから多くの人たちが新たに集います。新しい環境と仲間への不安や戸惑いに加えて、期待や意欲も混じり合っていることと思います。

私は入学してから、学部での学びはもちろんのこと、お笑いサークルやオルガニスト養成講座、青山学院145周年企画アートプロジェクト、学外では教会での奉仕活動やアルバイト、ウェスレー財団の海外研修など、様々なことへの挑戦を続けています。それまで知らなかった世界や自分とは異なる価値観を持つ人に多く出会って、たくさんの刺激を受けてきました。

神さまは私たち一人ひとりを必要として愛してくれています。どんな状態で、どんな人であってもです。私たちからすると誰かをそんなに愛することってできないかもしれない。けれど神さまはいつだって、まるっと受け止めて愛してくださる。私が大学に入学してから様々なことに挑戦し続けてこられたのも、神さまがどんな人でも愛していて受け止めてくれる、と知っていたからでした。

「常に主を覚えてあなたの道を歩け。そうすれば主はあなたの道筋をまっすぐにしてくださる。(箴言3:6)」心が落ち着かない時や不安を感じた時、神さまからの愛と御言葉に耳を傾けられますよう、青山学院での歩みが愛に満ち溢れたものとなりますよう、お祈りしております。



オルガニスト養成講座



青山学院145周年企画アートプロジェクト

大学 University

幼稚園 Kindergarten

キリスト教保育の実践

幼稚園生活の土台にあるのは、神様への礼拝です。お弁当前や降園時に日々祈り、讃美歌を歌います。誕生日会では、神様に愛され守られて大きくなったことを覚えて礼拝を守り、収穫感謝礼拝では、遠足で掘ってきたさつまいぶを囲んで礼拝を守った後に、焼き芋にして収穫の恵みを味わいます。裏庭の柿の木の実を採って磨き、園児たちが「柿屋さん」となって保護者に販売した収益は、チャイルド・ファンド・ジャパンを通して支援している子どもたちや、愛泉乳児園の子どもたちに思いを寄せ、祈りつつ献金としてお供げします。

一人ひとりが神様から与えられている賜物を活かし存分に遊ぶ幼稚園で、嬉しいときも悲しいときも共にいてくださる神様を身近に感じて過ごす中で、子どもたちの心に信仰の種が撒かれ、青山学院の一貫教育の中で育てられていくことを願います。

(幼稚園教諭 赤坂 洋子)



クリスマス礼拝



学年礼拝

初等部 Elementary School

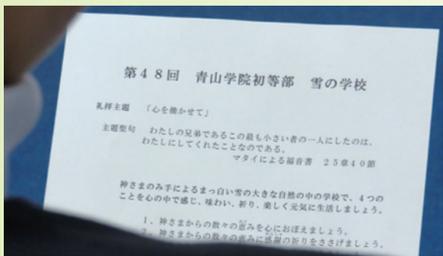
聖書の言葉と祈り

初等部では、日々の学校生活で聖書の言葉(聖句)とお祈りを大切にしています。日々触れる聖句は心の糧となり、生涯にわたって本人を励まし続けてくれます。また神様へのお祈りは、謙虚さと他者への思いやりの心を育ててくれます。

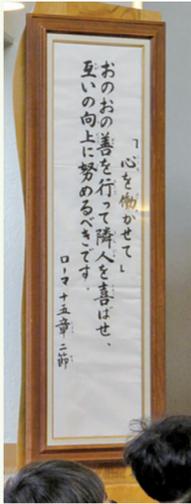
三つの具体的な取り組みをご紹介します。一つ目は、毎週1回低学年と高学年に分かれて持たれる祈禱会(お祈りのための集まり)です。ここでは、聖書の言葉に耳を傾けた後、願いと感謝のお祈りを神様にささげます。二つ目として、日々の礼拝のために、週替わりの聖句(今週のみことば)が決められています。各種行事にもテーマ聖句が設定されており、その聖句を意識したプログラムが組まれています。三つ目に、子どもたちに暗唱してもらっている聖書の言葉(暗唱聖句)があります。それは、「主の祈り」と「詩編23編」の言葉です。

前者は、イエス様が祈りのお手本として祈られた言葉であり、後者は、昔から多くのクリスチャンが心の拠り所にしてきた聖句です。このように、聖書の言葉とお祈りを日々の学校生活の土台とすることが意識されています。

(初等部教諭 戸井田 直人)



行事のテーマ聖句



今週のみことば

中等部 Junior High School

パイプオルガンと共に

新礼拝堂に続き、中等部に待望のパイプオルガンが設置されました。9月からパイプオルガン演奏による礼拝が始まり、新たな歴史を踏み出すことになりました。

オルガンはドイツ、ワイムズオルガン製作会社製の二段の手鍵盤とペダル鍵盤、26ストップ(音の種類)からなる楽器です。パイプはドイツの工房で一本一本手作りされ、発注から3年の歳月を経て、2019年6月に中等部に搬入されました。その翌日に組み立て開始。続いて1562本におよぶパイプの整音が行われ8月下旬に完成しました。礼拝堂正面から放たれるオルガンの響きは金粉のようにキラキラと輝きながら生徒たちに降り注ぎます。空気で発音するパイプの音と人間の声との相性は抜群のようで、生徒たちの賛美の声は以前よりも豊かになり、パイプオルガンが教会と共に発展を遂げてきたことを実感しています。この素晴らしい楽器が中等部教育を支え、末永く響き続けることを願っております。

(中等部教諭 伊藤 秀行)



中等部礼拝堂

高等部 Senior High School

高等部の礼拝や宗教行事

「はじめに言があった」とヨハネ福音書にあるように、高等部の礼拝で最も大切にされているのは「言」です。もちろん、効果的に最新鋭のビジュアルを使ったり、音楽や歌などを礼拝に用いることは常に行っていますが、それでも講壇に立つ者の奨励の中心にあるのは、キリストを伝えるため、実体験を交え、生徒の心に染み入るように語り掛ける「言」なのです。

現在、高等部の礼拝はクリスマスやイースター、ペンテコステといった伝統的な教会暦に基づく礼拝はもとより、春・夏の伝道週間、音楽を中心とした特別礼拝、三年生を送る卒業礼拝など、多彩な礼拝を捧げています。

ですが、例えばイースターには礼拝の後には、高等部内に隠したクイズ入りの模造卵を探す「エッグ・ハント」のような、楽しい行事も行われています。また、クリスマス礼拝は隔年で、生徒の手によるダンスや歌などを用いたページェントが行われています。しかしそのような行事の奥深くに必ずあるのはイエス・キリストの愛に満ちた「言」なのです。

このような日々の礼拝や行事の中で、高等部のキリスト教教育はこれからも永遠にその伝統を保っていくことでしょう。

(高等部宗教委員会)



伝道週間



クリスマス祝会

女子短期大学 Women's Junior College

宗教活動で学んだ繋がりと絆

女子短期大学の宗教活動委員会では、グロリアス・クワイアやよらばのこなどのメンバーが集い、おすそ分け作戦やフードドライブといった支援活動や、オータムリトリートやクリスマス会といった行事も行っています。

私はこの3年間、グロリアス・クワイアに所属し、ハンドベルによるコンサートや礼拝奉仕に参加してきました。その中で最も自分に大きな影響を与えた活動が岩手県宮古市での震災ボランティア活動です。自分自身がハンドベルを通して被災した方に対してどのように支援ができるか考えるきっかけとなりました。ハンドベルの音色に耳を傾け、毎回楽しみにしてくださる宮古市の人々に私たちが元気付けられています。

人と人が繋がって大きな輪が作られていくことを実感し、神様に守られて今年度も新しい出会いがある事を楽しみに、ハンドベルを通して様々な所と繋がっていきたく感じています。

(女子短期大学子ども学専攻1年 下田 桃子)



宮古市の鉾ヶ崎公民館でのハンドベルコンサート



防潮堤の上で被災地研修「学ぶ防災」を受ける

大学 University

キリスト教教育と活動

青山学院大学に入学した皆さんは、毎日1限目と2限目の間に礼拝の時間があることを不思議に思うかもしれません。これは青山学院大学が最も大切にしている礼拝に出席してほしいという大学からのラブコールであり、礼拝時間を通して他の大学では経験できないキリスト教の人生観や価値観を学ぶよい機会です。毎週火曜日の18:30から学生が中心となって賛美するコンテポラリー礼拝や、前期と後期には各界で活躍するクリスチャンをお招きしたチャペルウィークも行われています。

世界には20億人以上のキリスト教信者がいるといわれます。全学生必修のキリスト教概論では、知的側面からキリスト教を学ぶと同時に、グローバルなセンスや価値観を理解し、また昼休みに行われる「聖書に親しむ会」「キリスト教文化に親しむ会」は、身近に宗教主任やクリスチャンの先生方に接し学ぶことのできる貴重な機会となっています。

さらに多くの学生がクリスチャン・ノンクリスチャンを問わず宗教センター所属の4団体一聖歌隊、ハンドベル・クワイア、ACF(青山キリスト者学生会)、ゴスペル・クワイアに所属し、課外活動を行っています。良き師・良き友と出会い、充実した大学生活を送ってはいかがでしょう。

「オルガニスト養成講座」では、大学オルガニストの指導により礼拝堂にある本物のパイプオルガンを弾くことができる講座が用意されています。

これらは全学生に開かれ、行われるものです。青山学院大学での新しい出会いがあなたにとって一生のよい経験となるでしょう。

(青山学院宗教センター)



聖歌隊



ハンドベル・クワイア



ACF



ゴスペル・クワイア



相模原キャンパス点火祭



夕礼拝

神様とともにあゆむ学院生活